

福祉文教

開催日
9月 3日
9月 9日

一般会計

Q 児童手当給付事業について、コロナによる市単独事業とのことだが、前年度と金額的に差異はないが、何が市単独事業になるのか。

A 現況届の提出に際して、窓口が密になることを避けるために、郵送での提出を促すこととした。そのため、返信用封筒作成に係る印刷製本費及び郵券料である。

Q インクルーシブ教育支援事業について、事業成果としてどのように感じているか。

A 隔たりのない教育を目指し、医療的ケアを必要とする児童に対しては、市民病院との委託契約の中で、看護師に定期的に訪問いただくなど、個人に応じたきめ細やかな支援の充実が図られている。

Q 図書館利用状況について、コロナ禍における運営の状況、また、利用のイメージはどのように変化したか。

A 利用者数は、前年度比で約2万5千人の減となったが、一方で、インターネットを通じて電子書籍を貸し出す電子図書館事業においての登録者数は、約200人増加した。

学校給食センター事業特別会計

Q 公債費について、新たに給食センターを建設するにあたり、償還のピークを迎えるのはいつごろになるのか。

A 中央学校給食センターの償還については、令和2年度がピークであった。また、北学校給食センターが令和5年度に完成となるため、その償還は実質令和6年度から始まることになり、中央と同じ償還期間20年とした場合、令和9年度がピークになる。



北学校給食センター完成予想図

介護保険事業特別会計

Q 基金積立事業について、上限なく今後も積み立てていくのか。

A 準備基金は、介護給付費に不足が生じた場合にそれに充てるために取り崩すこととしており、積立額に上限はない。

経済建設

開催日
9月 7日
9月 10日

一般会計

Q 産業振興センター管理事業について、いつくらいまで産業振興センターを使用できるのか。

A 産業振興センターは、耐震化がされておらず現在のまま使うことは難しいため、この施設を核とし、どのような複合施設にしていけるか、プロジェクトチームを作り、総合的に考え検討しているところである。

Q 市営住宅管理及び修繕事業について、経済的に厳しく家賃の支払いが困難な入居者に対して、どのように対応しているのか。

A 新型「コロナウイルス」の影響など、状況により支払いが困難な方については、家賃の減免制度の利用や庁内の関係部署と連携を図りながら納付相談を実施し、できる限り納付いただくよう努めている。

Q 姫新線チャレンジ300万人乗車作戦事業について、利用者に乗りたいたいと思われる計画が大切だが、どのようなことを考えていくのか。

A 新型「コロナウイルス」の影響で計画どおり事業が行えていないが、今

後、沿線市町や県とも協働しながら斬新な計画、面白い計画を姫新線利用促進・活性化同盟会を通じてJRに要望するなどして進めていきたい。



姫新線

たつの市水道事業

Q 引当金の取崩しにより約145万円を不納欠損処理しているが、水道事業においてどのような処理になるのか。

A 不納欠損については、会計上、令和2年度であれば、平成27年度分の未納分を引き当てているが、引き続き私債権であり、時効の援用をしない限りは、その債権がなくなることはない。

たつの市国民宿舎事業

Q 国民宿舎赤とんぼ荘の運営については、一つの大きな会社が行うだけでなく、複数の経営者に運営していただくことは考えられないのか。

A 赤とんぼ荘については、現在、赤とんぼ荘利活用事業公募型「プロポーザル」の審査に入っており、グループで運営していただくという提案も受け入れる募集方法としている。